

# セキュリティインシデント分析コース の概要

公益社団法人 私立大学情報教育協会

## IPA「情報セキュリティ10大脅威 2019」

「個人」向け脅威	順位	「組織」向け脅威
クレジットカード情報の不正利用	1	標的型攻撃による被害
フィッシングによる個人情報等の詐取	2	ビジネスメール詐欺による被害
不正アプリによる スマートフォン利用者への被害	3	ランサムウェアによる被害
メール等を使った 脅迫・詐欺の手口による金銭要求	4	サプライチェーンの弱点を悪用した 攻撃の高まり
ネット上の誹謗・中傷・デマ	5	内部不正による情報漏えい
偽警告によるインターネット詐欺	6	サービス妨害攻撃によるサービスの停止
インターネットバンキングの不正利用	7	インターネットサービスからの 個人情報の窃取
インターネットサービスへの不正ログイン	8	IoT 機器の脆弱性の顕在化
ランサムウェアによる被害	9	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加
IoT 機器の不適切な管理	10	不注意による情報漏えい

今回の  
テーマ

||

脆弱性

<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2019.html>

公益社団法人 私立大学情報教育協会

## コースの概要

### ■ A-1. サイバー攻撃と防御・インシデント対応

- システムの脆弱性をついたサイバー攻撃および防御についての基本的知識と演習
- インシデント対応演習

### ■ A-2. システムの脆弱性の点検と対策

- サイバー攻撃の事前対策として有効な脆弱性検査を体験

## スケジュール

9:30

A-1. サイバー攻撃と防御・インシデント対応(前半)

12:15

&lt;昼食&gt;

13:15

A-1. サイバー攻撃と防御・インシデント対応(後半)

14:30

&lt;休憩&gt;

14:40

A-2. システムの脆弱性の点検と対策

15:30

&lt;教室移動&gt;

15:40

アクションプラン作成

## A-1. サイバー攻撃と防御・インシデント対応

- ① サイバー攻撃および防御についての基本的知識と演習
  - 攻撃手法と防御手法をサイバーレンジ上で演習
  - SQLインジェクション攻撃による情報漏洩
- ② インシデント対応演習
  - 痕跡調査とインシデント報告書の作成
  - 攻撃への技術的対応



1. サイバー攻撃への対処方法が身に付く
2. サイバー攻撃への事前の備えができる

## A-2. システムの脆弱性の点検と対策

- 疑似侵入テスト
  - サイバー攻撃の事前対策として有用な、脆弱性検査を体験
  - 脆弱性検査の活用事例紹介



自組織のシステムの脆弱性を発見し、対策がとれる

## アクションプランの作成

- 2日間の研修を振り返り、自校での今後の行動計画を練る
- 政策運営コースの参加者との合同セッション